

Scenario : type R

『嵐のメロディ』

■シナリオ解説

5月22日。親友が主演を務める演奏会・コンサート・ライブに招かれたPCは、異端犯罪者によって観客の男性が暗殺される瞬間を目撃してしまう。

会場から逃亡した犯人を止めるため、捜索を始めよう。

■シナリオタイプ：リトライ

(再挑戦もの。惨劇[B]を回避するため、惨劇が起きる時間[A]まで時を戻すシナリオタイプ。惨劇[B]を回避すればシナリオクリアとなる。惨劇[B]を回避できなければ、幾度とも『ループの代償』を払って再挑戦することができる)

■シナリオ情報

推奨人数：4人以上

必須AF判定数：6

期間：5月23日(1日間)

■シナリオキーワード：

「将来への夢／音楽／英霊」

●シナリオ前提情報

音楽家の卵スタイルチャート1D4 / 1:歌手・女 2:歌手・男 3:楽器演奏家・女 4:楽器演奏家・男

真相

GM限定情報

登場NPC:<NPC 1 : 音楽家の卵>

異端犯罪者『ハリケイン』
ライダーの英霊『エボラ出血熱』
龍の聖剣 (ルールブック P.82)
藤原 幸正 (ルールブック P.85)

セカイが動く理由:<NPC 2 : 巨大な黒い影>こと、ライダーの英霊『エボラ出血熱』による犠牲者が増えないようにするため。

シナリオクリア条件:異端犯罪者『ハリケイン』を討伐し、<NPC 2 : 巨大な黒い影>こと『エボラ出血熱』を無力化させる。

シナリオの真相:

<NPC 1 : 音楽家の卵>の姉は1ヶ月前の雨の日に、沼田 博人という男が死んだ危険ドラッグが原因の交通事故死している。

姉の死の原因を作った男に復讐したいと考えた<NPC 1 : 音楽家の卵>は、インターネット掲示板で暗殺依頼を受ける異端犯罪者『ハリケイン』の存在を知る。興味本位に殺人を依頼した。

異端犯罪者『ハリケイン』は、5月22日の会場に客として現れた沼田 博人を暗殺する。さらに沼田の死を利用して、多くの犠牲者を生み出すべく「人を殺すことに特化した英霊＝エボラ出血」を召喚した。

異端犯罪者『ハリケイン』と『巨大な黒い影』こと英霊『エボラ出血熱』は、5月23日に開かれる<NPC 1 : 音楽家の卵>の演奏会に來た者を皆殺しにする計画を立てる。

PC達は大量殺戮を食い止められるためにも、異端犯罪者と英霊を討伐しなければならぬ。

NPC詳細1

GM限定情報

NPC名: 音楽家の卵

クラス:アーティスト

武器:歌声

行動方針1:姉を殺した沼田 博人に復讐する。

行動方針2:姉が愛した音楽を大切にする。

設定:PC1の友人。ファンが多いミュージシャンであり、5月22～23日の2日間の演奏会(ライブやコンサート、発表会)にPCを招いている。沼田への復讐心が止められず、半信半疑だが沼田の暗殺依頼をした。『ハリケイン』は「依頼されたターゲットと、依頼した人物を両方殺す」方針の暗殺者のため、沼田を殺した22日の翌日、23日の夜に殺されようとしている。

祖母が遺し、姉が愛した思い出の歌『ダウンボウソング(死者蘇生の歌)』を『嵐のメロディ』という名前で編曲。世に広めたいと考えている。

異能や異端犯罪者の知識が無いため、嫌な予感はあるが「そんなことはありえない」と信用していない。しかし、もし自分に「死者を蘇らせる力」があると知れば、恐ろしい世界の存在を知らないうちに率先的に試そうとする。

異端犯罪者名:『ハリケイン』

クラス:魔術師/アーティスト/イレギュラー

武器:魔法の銃

行動方針1:大量殺戮をしてレベルアップする。

設定:大量殺戮をすることで負の感情を手に入れ、自身のレベルアップを目論む典型的な異端犯罪者。インターネット掲示板での暗殺依頼を受け持っているが、足がつかず特命課の捜査を掻い潜り、オープニング時点で8人(沼田で9人目)を殺し続けていた。慎重な性格で、わりと小心者。

NPC詳細2

GM限定情報

NPC名: 巨大な黒い影

異名:ライダーの英霊『エボラ出血熱』

クラス:狂戦士/霊媒師/異端者

武器:ウィルスの弾丸を放つ。

行動方針1:異端の本能に従い大量殺人を行なう。

行動方針2:宿主が無価値と判断した場合、新たな宿主を探す。

設定:人を殺すことだけに特化したウィルスが人型になった英霊。非常に恐ろしい戦士の男性として現界している。殺人には容赦がないが、自分の力を誇っており、道理が通らなければPCの話を聞くこととする潔い性格。

英霊は目的を果たすか、果たせないと覚悟するまで現界する。戦闘に負けるまで大量殺戮計画を止めない。大量殺戮を命じた召喚主である『ハリケイン』が無力化されることで昇華される。

他コネクション詳細

他NPC:龍の聖剣 (ルールブック P.82)

PC達とは知り合い設定を推奨。

PC1に世界が廻っていることを知らせるため、5月22日に現れる。

他NPC:藤原 幸正 (ルールブック P.85)

教会の現場復旧委員会のメンバー。正体は、ライダーの英霊『ハーデス』。藤原の役割は、「エボラウイルスによって侵されそうになった・その危険性のある土地を浄化して清浄にすること」と「英霊の存在を匂わせること」。藤原がいるので日本がエボラの危機に襲われることはない。

①オープニング:PC1

導入: PC1登場。エボラ出血熱が暴れ、PC1を残し全員死亡した世界の夢。
演出: ここはNPC1が歌を披露する会場の筈だ。しかし、会場にいる人すべてが血を噴いて倒れている。かろうじて立っている人間は、PC1のみ。仲間も、NPC1も、体中の穴という穴から血を噴き出して死んでいた。
演出: 自分も息苦しさを覚える。息を吸い込むと体が熱い。
 ふと、誰かが見ている気配がした。『巨大な黒い影』が自分を見ていた。圧倒的な力に恐怖を感じたところで、悪夢から目が覚める。

導入: 目を覚ますと、そこは5月22日の18時。演奏会の開場前。悪夢から目覚めたPC1の目の前に、龍の聖剣が現れる。
必須イベント: 龍の聖剣が5月23日に、悪夢が起きるかもしれないと教える。
演出: 龍の聖剣「私が貴方の前に現れたということは、異端に関わる事件が起きたから。貴方は違う世界の光景を見たわね。大勢の人間が殺される夢。大勢の人間の死を、世界は認めない」
 龍の聖剣「あれは5月23日に起きてしまうかもしれない出来事。貴方の友人達の運命を助けるためにも、どうか世界を救って」

③オープニング:PC2

導入: PC2登場。他PCは自由。
 5月22日18時以降。演奏会が始まり、NPC1が舞台に立つ。会場はNPC1の歌に聞き惚れる。3~4曲目で、NPC1が新曲『嵐のメロディ』を披露。歌を聞いていたPCは全員『イベントキー：歌』を入手する。
 新曲を披露している最中、PC2は近くにいた男性客2人が不自然な動きをしているのを発見する。後ろの男は魔法の銃をウズマキから取り出し、**手前にいた男のうなじに魔法陣を描く**と、引き金を引く。被害者男性は音も無く崩れ落ち、犯人の男は誰にも気付かれず、会場を去って行く。
必須イベント: 『嵐のメロディ』演奏中に、魔法陣+銃による殺人を行なう。
音も無く倒れて死んだ被害者に駆け寄る場合
 会場はNPC1の新曲『嵐のメロディ』に聞き惚れていて殺人があったことに気付いていない。PCが被害者男性に近づく、サビを聞いた死体が動き始める。まるでゾンビだ。PCが攻撃を1点以上加えたなら、完全に死亡する。
会場を去って行った犯人を追う場合
 犯人を取り押さえようとしたときとても恐ろしい存在だと思える、姿無き『巨大な黒い影』が現れる。「本番は明日だ」1人と何者かは共にシーン退場する。

⑥ミドル前:準備

導入: ミドルフェイズに行なう『AF判定リスト』を公開。

「2ラウンド制。1ラウンド目を5月23日の午前~昼頃、2ラウンド目を午後~夕方頃とする」こと、「2ラウンドが経過したら5月23日の18時、<NPC1:音楽家の卵>の演奏会となりクライマックスフェイズに突入する」ことを宣言。
 すべてのAF判定をクリアしたら自動的に5月23日の18時、<NPC1:音楽家の卵>の演奏会となりクライマックスフェイズに突入する。

⑥オープニング:PC3

導入: PC全員登場。5月23日の朝。教会の依頼を受けるシーン。仕事幹旋人の高坂と、現場復旧委員会の藤原から、昨日の詳細を聞く。
演出: 高坂「昨日の殺人は異端犯罪者『ハリケイン』という指名手配犯の仕事によるものだ。うなじに魔法陣を張って銃で殺すやり方で、奴は既に8人、昨日で9人目の被害者を出した。奴を早急に捕まえては」
演出: 高坂「被害者の名前は、沼田 博人(ぬまた・ひろと)。関西で活動していたが、最近になって関東に進出してきた……ネット販売中心の観葉植物栽培業者だ」
演出: (被害者のゾンビ化は何だった?)「判らない。ハリケインが今まで殺した8人の被害者の中に、ゾンビになったというケースは無かった。既に8人も殺している魔術師だ、新しい技を覚えて試したのかもしれない」
演出: 藤原「実体を持たぬ霊達が騒いでいます。騒ぎがあった会場付近の下部霊達は何者かに食われ、消失しました。『招かれざる巨大な黒い影を見た』という報告が上がっています。しかし我々、現場復旧委員会が出向いたときには何も見つけられなかった。恐ろしい影はどこかへ移動したということのようです。忠告しておきますよ」

⑤オープニング:共通

導入: PC1登場。他PCは自由。
 犯人に逃げられ、一瞬ゾンビとして動き出した被害者は完全に死体となる事件が起きた。教会を呼べばすぐに駆けつけて処置してくれる。
 会場が大騒ぎになっていなければ、演奏会は大成功。NPC1が現れ、今日の成功を親しい者達と分かち合おうとする。
演出: NPC1「歌を聞きに来てくれてありがとう! 23日もチケットがあるからぜひ来てほしい。明日も新曲をまた披露するよ!」
演出: NPC1「18時前だったらいつでも会いに来てね」

⑥ミドルフェイズ

導入: AF判定を全部終えたら、5月23日の18時まで時間を進める。

『イベントキー：歌』と『イベントキー：ダウンソング』を持っているPC、もしくは「幸運」判定(難易度:12)に成功したPCがいた場合は、トリガーイベントに進んだ後、クライマックスフェイズに移行する。

⑦トリガーイベント

導入: 特定のイベントキーと判定が必要。2日目の開場前のNPC1と会って話をするのできるシーン。
 警察から昨晚死亡事故があったことを話され、沼田が死んだことを知ったNPC1は「噂が確かなら依頼者である自分も殺されるのでは?」と半信半疑ながら怯えている。
 PCが暗殺サイトの件や、殺人依頼を書き込んだのはNPC1か、など直接話をしない限り口にはしない。
PCがNPC1を助ます、罪を追及するなど咎める。道を諭すなどNPC1の成長が見込めるシーンだと判断した場合
 NPC1は一回り力を得た状態で会場入りする。『イベントキー：音楽家』を入手する。
PCがNPC1に『嵐のメロディ』が死者蘇生の効果があると教えた場合
 NPC1は姉の蘇生を考える。止めなければ、後日NPC1は姉を復活させるだろう。

⑧クライマックスフェイズ

導入: 開場間近。《千枚皮》で姿を変えた『ハリケイン』と黒人男性が会場に入る姿を発見する。
 マスターである『ハリケイン』は目立とうとはしないが、黒人男性は面識のあるPCに話し掛けてくる。
演出: 黒人男性「僕は人死を求む召喚主によって、新たな地獄を生み出す者として現界したライダーの英霊。『人を殺すこと』に特化したウィルス、エボラ出血熱だ。エボラ「これからの大虐殺、規格外の連中を先に排除しておく必要がある。かかってこい!」
演出: 『ハリケイン』が戦闘不能になると、現界する魔力の供給元が無くなったことで、エボラは昇華される。現場復旧委員会によって会場は完全に浄化される。

⑨エンディング

導入: 『ハリケイン』を討伐、捕縛することで教会の依頼は達成。
 エボラウィルスがもし会場に撒かれていたら、もしそのとき『嵐のメロディ』が流れていたら、ウィルスを纏ったゾンビが街を徘徊しただろう。龍の聖剣からその危険性が無くなったと聞かされる。PCはNPC1の会場に戻る事ができる。NPC1は新曲『嵐のメロディ』を熱唱する。
イベントキー：音楽家』を所有している場合。
 成長したNPC1は、さらにアレンジを加えた『嵐のメロディ』を熱唱する。曲は同じだが唄い方が変わったことで蘇生の効果が無くなる。もし死体に聞かせたとしてもゾンビ化はしないだろう。
 NPC1はPCに感謝する。

※異端犯罪者『ハリケイン』(魔/A/I)

能力値:体3/反2/知4/理5/意6/幸4
 HP/MP:中(目安:[PC人数]×n)=[]/[]
 命中:高(目安:メインPC[回避値]+3)=[]
 回避:低(目安:メインPC[命中値]-4)=[]
 防御:低(目安:物理2/霊力2)=[]
 行動:中(目安:メインPC[行動値]±2)=[]
 戦闘移動:[行動値]+5=[]**全力移動:**戦闘移動×2=[]
▼<魔導書> 20m・単体
 [1D6+中[]]点の霊力ダメージ。
▼セットアップ<アポビス>
 代償4MP・【反射】対決をして、成功したら放心を与える。
▼マイナー<法則拡大>
 代償3MP・命中対象を【範囲(選択)】化。
▼マイナー<タイマスト>
 味方から代償MP5点消費させるごとに自身のダメージ+1D6。
※『エボラ出血熱』のデータ ルールブック P.96 [闘7/狂8/異5]。
 《EP:集団統率》所持。『ハリケイン』が戦闘不能になれば戦闘放棄する。
※モブエネミーのオススメ ルールブック P.93 [狂3/狩2/霊1] 1~2体

シナリオ名『嵐のメロディ』

シナリキーワード「将来への夢／音楽／英霊」

キャラクターレベル3～5推奨シナリオ：レベル【 】

開始。PC達は全員知り合い同士推奨。

ハンドアウト：PC1

コネクション：音楽家の卵

関係：親友

推奨クラス：魔術師 or 世界遣い

5月22日、君は悪夢を見た。全身の穴という穴から血を垂れ流す人々。なすすべもなく彼らが死んでいく悪夢を。

目を覚ますと5月22日18時。知り合いが出場する音楽の会場にいた君の隣には、龍の聖剣が立っていた。

「明日5月23日。貴方がこれから何もしなければ、あの悪夢は現実のものになるわ」

セカイのイベント：音楽家の卵と仲良くなる。

コネクション詳細：音楽家の卵

駆け出しのバンドボーカル、歌姫に憧れる少女など、まだ未熟なアーティストの卵。

ハンドアウト：PC2

コネクション：異端犯罪者『ハリケイン』

関係：敵対

推奨クラス：聖職者 or 処刑人

5月22日、君はPC1と共にミュージシャンの会場にいた。

音楽を楽しみにきた君は、会場で殺人を見かけてしまう。

ウズマキから武器を取り出し、男性客の頭を弾き飛ばした男、教会で指名手配されていた異端犯罪者『ハリケイン』が、姿を変えて会場に現れた。

セカイのイベント：異端犯罪者『ハリケイン』と戦う。

コネクション詳細：『ハリケイン』

退魔組織「教会」で指名手配されている異端犯罪者。様々な形で依頼を受け、金次第で殺しまわるといふ能力者の暗殺者。

ハンドアウト：PC3

コネクション：『巨大な黒い影』

関係：自由

推奨クラス：稀人 or 異端者

君は人外のことにとても理解がある能力者 or 人外だ。

5月22日にミュージシャンの会場であった殺人事件を、PC1～2と共に捜査することになった。

すると、君のもとに現場復旧委員会の藤原が忠言をしに現れた。

「周囲の人外達がざわついている。何者か判らないが『巨大な黒い影』が現界し、会場近くにいた下級壺や人外達を食らっていったようだ」

セカイのイベント：『巨大な黒い影』から人々を守ろうとする。

コネクション詳細：『巨大な黒い影』

詳細不明。人間なのか男なのか女なのかも判らぬ、その名の通り『巨大な黒い影』。

ハンドアウト：PC4

ハンドアウト1～3を兼用する。PC1の場合、PC1と同じ夢を見て、龍の聖剣の話を書く。

PC2の場合、PC2と同様に異端犯罪者による暗殺現場を目撃する。

PC3の場合、藤原の警告を聞く。

・PC達の設定について1

PC達は全員、龍の聖剣と面識がある設定でも構わない。

・PC達の設定について2

PC3もミュージシャンの会場にいても構わない。

AF判定リスト

ミドル前に契約OK 契約：マイナー 供給：マイナー(1シナリオに1回まで)

2ラウンド制。1ラウンド目を5月23日の午前～昼頃、2ラウンド目を午後～夕方頃とする。

2ラウンドが経過したら5月23日の18時、<NPC1：音楽家の卵>の演奏会となりクライマックスフェイズ突入。

AF判定：調査「ハリケイン」

使用能力値：【知覚】 or 【理知】

難易度：高 []

ラウンド制限：なし

条件：なし

演出：「異端犯罪者『ハリケイン』について調べる」演出に成功すること。

成功した場合、ハリケインの情報を得る。

AF判定：調査「被害者」

使用能力値：【理知】 or 【意志】

難易度：低 []

ラウンド制限：なし

条件：なし

演出：「昨夜の被害者である男性・沼田 博人について調べる」演出に成功すること。

成功した場合、被害者の詳細を知ることができる。

AF判定：探索「巨大な黒い影」

使用能力値：【理知】 or 【意志】

難易度：低 []

ラウンド制限：なし

条件：なし

演出：「藤原 幸正が話していた『巨大な黒い影』を探しに街に行く」演出に成功すること。

成功した場合、黒い影に関するイベントが発生する。

AF判定：調査「儀式」

使用能力値：【理知】 or 【意志】

難易度：低 []

ラウンド制限：1ラウンド

条件：なし

演出：「ハリケインが暗殺の際に使っていた魔術の魔法陣について調べる」演出に成功すること。

成功した場合、儀式の詳細を知ることができる。

AF判定：交流「NPC1」

使用能力値：【体力】 or 【反射】

難易度：中 []

ラウンド制限：なし

条件：なし

演出：「<NPC1：音楽家の卵>と交流する」演出に成功すること。

成功した場合、NPC1の話を知ることができる。

AF判定：調査「歌」

使用能力値：【知覚】 or 【意志】

難易度：低 []

ラウンド制限：なし

条件：『イベントキー：歌』もしくは『イベントキー：ダウンボーソング』を所持していること。

演出：「歌について調べる」演出に成功すること。

成功した場合、歌の情報を得る。

AF判定:調査「ハリケイン」

条件:なし

演出:「異端犯罪者『ハリケイン』について調べる」演出に成功すること。
成功した場合、ハリケインの情報を得る。

情報:

(1)『ハリケイン』は裏サイト・裏掲示板を利用して殺人依頼を受ける暗殺者である。魔術師の《千枚皮》や《幻惑の衣》の効果でなかなか足がつかず、サイトのURLやパスワードも数日経たず変更されるため発見が難しく、警視庁能力特命課の目を掻い潜って既に9名の被害者を出している。

(2)ハリケインの暗殺サイトには噂がある。暗殺依頼を書き込むと、標的が死んだ後に依頼者も殺されてしまうという噂だ。現に特命課の操作では1人目と2人目の被害者には怨恨の関係があり、3人目と4人目にも関係があったが、2人目と3人目は無縁であった。ハリケインは標的だけでなく標的に殺意を持っていた人物も追い詰めて殺す方針のようだ。

(3)9人目の被害者である沼田の名前を書き込んだ掲示板の復元に成功。とあるパソコンからサイトにアクセスしたと判明した。その発信元主は、<NPC1:音楽家の卵>と同姓であった。NPC1の自宅のパソコンからサイトにアクセスしたことは確実である。

AF判定:調査「被害者」

条件:なし

演出:「昨晩の被害者である男性・沼田 博人について調べる」演出に成功すること。
成功した場合、被害者の詳細を知ることができる。

情報:

(1)被害者・沼田は、脱法ハーブ(危険ドラッグ)販売業者である。ぞくに言う『薬の売人』であるが、新種が次々と開発されるため法律では早々に取り締まれない危険ドラッグを取り扱っていたため、逮捕歴は無い。そのため、合法という言葉で沼田からハーブを買ってしまう人が立たず、使用してしまったがために錯乱して交通事故を起こす事件が起きている。

(2)沼田の商売はかなりあくどいもので、それについて警察の手が及ばないギリギリのラインを保っていた。沼田に恨みを持っている者はいるだろう。

AF判定:探索「巨大な黒い影」

条件:なし

演出:「藤原 幸正が話していた『巨大な黒い影』を探しに街に行く」演出に成功すること。
成功した場合、黒い影に関するイベントが発生する。

情報:

(1)突然、身長2メートル近い大柄な黒人男性に声を掛けられる。「この辺りで今夜、大勢が集まるような場所はないか? 出来れば多くの人間が一所所に集まって、何かに集中するような場所を教えてください」

(ミュージシャンの会場を答えた場合)「ほう? ソウルをぶつける、正の感情が溢れる空間か。良い話を聞いた!」

(見当違いな場所を答えた場合)「そこも明日や明後日に行ってみよう。ところで昨日、群衆が一心不乱に歌を聞いていたが、あれは何だ? 今日もあるのか? (23日も18時から開催される)」

(2)話を終えた黒人男性は、感謝の言葉を述べた。次の瞬間、彼は黒い霧になって姿を消した。探してもどこにもいない。

AF判定:調査「儀式」

条件:なし

演出:「ハリケインが暗殺の際に使っていた魔術の魔法陣について調べる」演出に成功すること。
成功した場合、儀式の詳細を知ることができる。

情報:

(1)『ハリケイン』が暗殺の際に使った魔法陣は、『英霊召喚の魔法陣』だと判明する。『英霊』とは、過去の偉人・歴史的な英雄・神話や伝承に語り継がれる感情の象徴的存在の魂・概念のこと。強力な魂は魔力で肉体を形成し、実体化して再び現世に現れることができる。現場復旧委員会の藤原の正体がライダーの英霊『冥府の王ハーデス』であるように、召喚儀式を用いれば人外を現世に呼び寄せることができる。

(2)英霊召喚は、9人分の人間の血があれば完成する。犯人は一度に多くの血を使うのではなく、9回の分けた事件で英霊召喚を成功させたようだ。しかし正しい英霊召喚の手立てではないので、召喚されたものは正統派ではないイレギュラーな英霊になるだろう。

(3)昨日の被害者で、『ハリケイン』による殺人は9件目だった。つまり昨日の段階で、良くない英霊が召喚された可能性がある。

AF判定:交流「NPC1」

条件:なし

演出:「<NPC1:音楽家の卵>と交流する」演出に成功すること。
成功した場合、NPC1の話を知ることができる。

情報:

(1)NPC1は新曲『嵐のメロディ』について語る。「あれは思い出の歌なんだ。実はあの曲は、亡くなったおばちゃんが昔教えてくれたものなんだ」 NPC1は祖母が聞かせてくれた原曲を聞かせてくれる。『イベントキー:ダウンボーソング』を入手する。

(2)NPC1は自分のことを話す。「自分には姉がいた。1ヶ月前の雨の日、交通事故で死んでしまった。自動車を運転していたところ操作を誤って電柱に突っ込み、一人で死んでしまった。一時期は落ち込んだが、今は亡き祖母と姉のためにも思い出の歌を唄っていきたい」

AF判定:調査「歌」

条件:『イベントキー:歌』もしくは『イベントキー:ダウンボーソング』を所持していること。

演出:「歌について調べる」演出に成功すること。
成功した場合、歌の情報を得る。

情報:

(1)<NPC1:音楽家の卵>が唄っていた歌の主旋律が、禁書に記されている呪文に酷似していると発覚する。禁書の名前は<黄泉がえりの禁書>。内容は、蘇生の秘術である。

(2)オリジナル特技<黄泉がえりの禁書>

対象:シーン 射程:視界 代償:なし

効果:シーンにいる死体を蘇らせる。

(3)本来の効果なら、たとえ骨になった死体でも完全に肉を持って蘇生させることができる。中途半端な成功だ、いわゆるゾンビ映画のゾンビ(自我が無く、理性も無いため食欲など欲求に素直な状態)程度の蘇生になってしまう。

イベントキー:歌

効果:<NPC1:音楽家の卵>の歌声を聞いたことを表わすイベントキー。

イベントキー:ダウンボーソング

効果:<NPC1:音楽家の卵>の祖母が聞かせてくれたという、『嵐のメロディ』の原曲を聞いたことを表わすイベントキー。

イベントキー:音楽家

効果:<NPC1:音楽家>がPCの話聞いて、[アーティスト]として成長したことを表わすイベントキー。

解説メモ:英霊

後世に名が残る偉人、神話や伝承に存在する英雄、大勢の感情によって生まれた象徴的な存在の魂が魔力で肉体を形成して現界したもの。大半の英霊は召喚主の召喚式によって呼び出される。

魔力がなくなる、現世でやり残したことを達成する、召喚した魔術師の命令を果たすことで、英霊は昇華される。

解説メモ:エボラ出血熱

エボラウイルス。フィロウイルス科エボラウイルス属のウイルスを病原体とする急性ウイルス性感染症。50~80%という死亡率を誇る、人類が発見したウイルスの中で最も危険なウイルスの1つ。

症状が進行すると口腔、歯肉、結膜、鼻腔、皮膚、消化管など全身に出血、吐血、下血する。体中の至るところから出血し、死亡する。